

第2回北東アジアOSS推進フォーラム
議長声明

2004年7月28日
日本・札幌市にて

2004年4月3日に北京において日本・中国・韓国（以後「日中韓」という）のIT担当局長が署名したメモランダムと、同時開催された第1回北東アジアOSS推進フォーラムの成功を受け、日中韓各国でオープン・ソース・ソフトウェア（以後「OSS」という）を推進する代表者は、日中韓のOSS推進の状況を確認し、今後の日中韓の協力に関する共通認識を得るに至った。

即ち、日中韓が協力して課題を解決し、一層のOSSの推進の加速を図ることにより、世界に開かれた形でのOSS普及に向けた貢献を行っていくため、日中韓共同で運営する以下のワーキンググループ(WG)から設けていくことに合意した。

- WG1：技術開発・評価
- WG2：人材育成
- WG3：標準化・認証研究

このWGにおいては、検討範囲を明確にして優先度に基づいた今後の作業計画を策定し、定期的な見直しを行っていく。このために必要な各国のコンタクトポイントを日本OSS推進フォーラム、中国OSS推進連盟、韓国OSS推進フォーラムで連携を取り10日以内に決定する。

第3回北東アジアOSS推進フォーラムを2004年12月に韓国にて開催する。

日中韓の代表者は、WGでの活動を通じて世界のOSS活動に貢献していくことを確認する。

日本OSS推進フォーラム
代表幹事
桑原 洋